

本市の財政計画については3年ごとに策定しており、既存の計画が令和2年度までで、今回、令和3年度から令和5年度までの3年間を計画期間とする財政健全化計画を策定しました。

財政健全化計画の資料の構成につきましては、目次にございますように、前半部分で財政状況のこれまでの実績を、後半部分で今後の財政の見通しを記載しております。

これまで名称を「財政計画」としていたものを「財政健全化計画」としております。これは、計画策定により財政調整基金の減少と公債費の増加という課題が明らかになったことから、財政状況が厳しさを増しているため、名称を改めたものでございます。赤字団体に転落してからでは遅いので独自にブレーキをかけるという意味合いで「健全化」を掲げたものでございます。

1 ページの「1 はじめに」は、これまでの計画の結果、新たな課題、経済情勢、今後の考え方、そして、持続可能な財政運営を図ることを目的に計画策定しております。

2 ページでは、計画目標として3点。

1 つ目は、財政調整基金の確保として、目標は30億円(標準財政規模 144 億円×20%(10%:景気後退対応分、10%:災害対応分))でございますが、計画では20億円の残高を何とか確保していこうとしております。

2 つ目は、事務事業の見直しによる財源確保で、過去の政策を縮小・廃止しなければ新たな政策を推進するための財源がない状況。事務事業の見直しを行い、財源を確保するとしております。

3 つ目は、上昇する公債費の償還財源の確保として、今後、1 億円単位で借金の支払いが増えるため、その財源確保が課題となっております。

3 で、計画期間を令和3年度から5年度までの3年間とし、経済情勢や国県の動向を踏まえ必要に応じて見直しを行うとしています。

また、現時点で見込むことができなかったものなど、新たな財政負担が生じる可能性もあるとしております。

4 で、会計の単位は、全国の自治体の指標となっている普通会計としております。

「5 財政状況」について3ページから(1)歳入決算額の推移で、平成25年度から令和元年度までの決算額の状態、一番右端に平成25年度と令和元年度の比較を示しております。

地方税では、約6億円の増加、地方交付税は15億円の減少、寄附金は9億円増加、市債は16億円増加など、トータルでは一般財源が減少してきております。

次に、6ページ(2)歳出決算額の推移で、義務的経費の扶助費が平成25年度と比較して15億円と大幅に増加し、投資的経費では、普通建設事業が15億円増加、その他の経費も増加傾向にあります。歳入は減少する中、歳出は増加傾向にあります。

8ページが(3)市債残高の推移で、大規模事業の実施により償還元金以上借り入れたため増加しております。平成26年度以降、同様の傾向にあったため、市債残高は上昇傾向にあります。

9ページの(4)積立基金の残高の推移で、特に、財政調整基金が減少傾向にあります。

10ページから(5)財政指標の状態を掲載しております。

類似団体(県内では、いちき串木野市、奄美市)と比較することで、本市の財政状況を把握するものでございます。経常収支比率については、類似団体を下回っている状況ですが、依然として高い水準となっております。

12ページから計画期間における財政の見通しとして、3年間の決算見込み額を推計しております。

令和3年度は歳入301億円、歳出283億円、令和4年度は歳入292億円、歳出281億円、令和5年度は歳入313億円、歳出306億円を推計しました。過去3年間の決算の状態、そして令和3年度から令和5年度の計画額を示しております。

主な歳入につきましては、地方税で令和3年度以降、減少傾向で推計しております。

次に、地方交付税で、普通交付税が令和3年度から特例措置期間が終了し、一本算定となることや国勢調査による人口も減少傾向で推移しているため、1.0%から1.5%の減少を見込んでおります。

寄附金については、ふるさと納税が特産品の拡充などにより堅調な伸びを示しており、今年度も約17億円が見込まれ、今後も15億円程度で推移する見込みでございます。

次に、地方債については、通常分と新クリーンセンター施設整備に伴う一般廃棄物処理事業債と区分し掲載しております。

通常分は、25億円から20億円と減少傾向で推移、普通建設事業費の削減により借入れを減少させたい。一般廃棄物処理事業債について3年間で44億円の借入れを見込んでおります。

次に、歳出の見通しでございます。

主なもので、定数減に伴う議員報酬や職員給については今後も減少傾向で推移しますが、会計年度任用職員報酬については、増加傾向で推移する見込みでございます。

扶助費については、毎年2%ずつ増加、公債費についても毎年1億円ずつ増加傾向にあります。

次に、普通建設事業費については、通常分と新クリーンセンター分を計上し、通常分については、30億円を目標に抑制を図っていこうと考えております。

その他の経費にあつては、ふるさと納税推進事業費の増により物件費や返礼品、令和5年度のかごしま国体関連経費、公営企業会計への移行に伴う下水道事業の補助金の増など補助費等の増加が見込まれ、繰出金では、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険など市負担分の増が見込まれております。

次に、13ページから18ページにかけて(2)財政計画に見込んだ大規模事業を掲げております。これまで5千万円以上の事業費を対象としていたものを1千万以上とし、より細かく精査しております。

次に、18ページの(3)財政指標の推移は、経常収支比率も上昇傾向、市債残高も新クリーンセンター施設整備の借入れ等により増加傾向にあります。一方、積立基金については、財政調整基金残高を20億円は確保していこうと考えております。

次に、18ページから20ページは、(4)歳入歳出決算額の推計に当たっての考え方を記載しております。

次に、21ページは、(5)は市債残高見込みの推移で、一番上の表は、市債の年度別発行額を記載しております。

令和3年度から5年度の借入額につきましては、新クリーンセンター施設整備の借入を予定しているため、発行額はかなり大きくなると見込んでおります。特に、令和5年度は、全体で約49億円の借入を行うこととなります。

次に中段の表は、年度別元利償還額でございます。

令和2年度の元利償還額が約30億6千万円であり、さらに令和3年度以降は、毎年の償還額が年々急激に増加していきます。

令和3年度は、令和2年度よりも公債費が約1億1千万円増加し、4年度は約1億7千5百万円、5年度は約3億2千9百万円増加すると見込んでおります。

令和3年度以降は令和2年度よりも大幅に償還金が増加していくことになり、財政運営がより厳しさを増しており、償還財源を確保する必要があるところでございます。

次の市債残高額につきましては、令和5年度までは、右肩上がりに推移していくと見込んでいます。特に、新クリーンセンターの借入により、令和5年度は市債残高が約329億円とピークを迎え、その後は減少すると見込んでおります。

次に22ページの(6)基金残高見込推移でございます。

財政調整基金につきましては、短期の資金繰りを左右するもので、平成30年度までは、40億円の基金残高を確保しておりましたが、令和元年度に約14億円を取り崩した結果、令和元年度末の基金残高は、30億円を下回り29億円となっております。令和2年度末では20億円まで落ち込む見込みでございます。

特に財政調整基金の確保については、基金残高の目標は30億円を確保したいところですが、令和7年度までは、何とか20億円程度を確保していきたいと考えているところです。

次に、減債基金については、基金残高が3億円程度でございます。

現段階では、公債費の償還財源の確保が難しくなる令和5年度から7年度まで、それぞれ1億円を取り崩す計画で、公債費の償還財源の確保を図る観点から余剰が発生した場合、減債基金への積立も行う必要があると考えております。

次に、施設整備基金につきましては、新クリーンセンター施設整備分として7億円活用し、令和5年度末残高が13億円になると見込んでいるところでございます。公共施設の老朽化に伴う施設整備の財源としても確保していく必要があります。

次に、22ページの(7)市を取り巻く情勢と今後の見通しについては、まず、社会経済の課題として、人口構造の変化、公共施設・インフラの老朽化と更新問題、自然災害への対応があげられ、そして、財政状況の見通しについては、23ページ下段の方で、歳入については、税収や交付税等一般財源の減収が見込まれております。

歳出では、高齢人口の増による扶助費の増、これまで大規模事業を実施してきたことによる公債費の増、新クリーンセンター施設整備に伴う負担金の増など、市債残高も高い水準で推移していくことが見込まれております。

このようなことから、引き続き徹底した行政改革の推進と持続可能な財政構造を構築していく必要があるとしております。

最後に、25ページに「7 今後の財政運営の考え方」として基本的に歳入に見合った歳出予算構造とすること、普通建設事業は抑制していくこと、地方債の発行は元金償還額の範囲内とすること、最少の経費で最大の効果を念頭に進めていくとしております。

(2)具体的な方策としては、令和3年度から、事務事業の見直しによる財源確保、補助金の見直し、公共施設のマネジメントの強化等を図るなどを掲げております。

以上が、財政健全化計画の概要説明になります。計画で課題になっているリスクをしっかりと把握し、将来を見据えた財政運営に努めてまいります。